

サプライチェーン 統合プログラム

より強固でありながらシンプルな CoC制度の実現

1

FSC®サプライチェーン統合プログラムの導入

FSCは2014年に20周年の節目を迎えました。20年間に渡る成長と発展により、世界中の様々な組織に便益をもたらすことができるようになりました。今では多くのビジネスのコア部分にFSCが重要な役割を果たすまでになりました。

この20年間で世界では様々なことが変わっています。ビジネス取引のスピードと規模が加速的に高まっており、また新しい技術の利用についても、ついていくのが大変なほどのペースで拡大しています。

同時に、私たちにとっては幸運なことに、世界中で森林への配慮を自身の責任の一環だと考える企業も増えており、原材料の調達や製品の製造を通じてその責任を果たそうという取り組みも拡大しています。

15年前にFSC認証を取得した企業が求めていたものは比較的同じようなものでしたが、今では企業の求めるものも多様化しています。

発足から20年経った今、FSCの制度は改革の時を迎えています。FSC認証制度が様々なユーザーにとって必要であり続けると同時に、世界中の組織と消費者が安心して購入し販売できる責任ある森林製品を届け続けるという本来の目的のために、FSCも変わる必要があります。

今FSCに求められているのは、様々な企業のニーズに応え、速いペースで変わり続ける現実世界に適応できるだけの力を付けることです。つまり制度をより柔軟にし、事業の効率化や近年利用可能になった技術の活用とFSC認証の取得が両立できることを保証しなければなりません。

そして、悪意を持って攻撃してくる企業や個人から、私たちの関係者を守るために制度をより強固にする必要があります。

つまり、私たちは次の2つの重要分野で制度を向上させる必要があります:

A. FSC制度に関わっている産業の多様性に適応するためにCoC認証により汎用性を持た せなければならない。

CoC認証は、より効率的に認証要求事項を満たすことが可能となるよう、リスクに基づいたアプローチでより柔軟に信頼性を届けなければならない。

今まで、私たちは要求事項への違反のリスクが無いと考えられる事柄についても、認証取得者に対して認証要求事項へ適合するために、彼らのシステムに沿わない運用を強いる場面を数多く見てきました。結果、特に中小企業にとってFSC認証制度が形式的になりすぎているケースが多くありました。

B. 現在のCoC制度は高い水準での保証と信頼性を実現しなければならない。

現在のCoC制度は信頼の上に成り立っています。この制度は供給者との間に長期的なビジネス関係を持ち、また高い水準でサプライチェーンの知識を持つ、責任ある企業のために作られました。

世界中で50,000を超える組織が認証を取得しており、ビジネス取引の方法も急速に多様化し続ける中で、現在使われているCoC制度が、その目的を果たす上でまだ適切であるか一度振り返る必要があります。

私たちはFSC制度が今のビジネスの世界で機能することに加えて、将来的な変化にも適応できることを保証したいと考えています。その結果、すべての規模の企業にとってより効率的かつ強固な認証制度を作るためにFSCサプライチェーン統合プログラムが立ち上げられました。

顧客志向と結果に焦点を当てる

2014年にスペインのセビリアで行われたFSC総会において、FSCはより顧客志向および結果を重要視する制度とならなければならないという意見が多くの会員と利害関係者から挙がりました。また、FSCと同じようなミッションを掲げている他の組織や制度と、今まで以上に強い協力関係を築くべきだという声も多く聞かれました。

私たちはこれらの意見を今後5年間の活動戦略の3つの重要公約に取り入れました。

その結果、私たちは行おうとしているすべての変更について、ユーザーのニーズを中心に考えることを約束します。今後、制度変更を行う際はユーザーの大多数にとって制度の向上が 実感できるもの、または実際に影響が定量化できるものに限定します。

私たちは今までのルールに重点を置いていたFSC制度から、可能な限りリスクに基づいたアプローチを取り入れ、顧客志向と結果へのこだわりに重点を置いた制度へと変革させなければなりません。

2つの重要分野を実現するための8つのプロジェクト

FSCサプライチェーン統合プログラムは2つの重要分野を実現するために、2015年からそれぞれの分野でいくつかのプロジェクトを計画しています。プロジェクトはFSC本部の各部署だけでなく各国のナショナルオフィスを交えて実施される予定です。プロジェクトごとに計画とスケジュールが立てられます。

FSCサプライチェーン統合プログラムはFSCの戦略計画に沿って進められます。各プロジェクトの実施速度は戦略計画に基づくスケジュールと割り当てられる人的資源によります。 FSCの戦略計画は2015年8月に承認される見込みです。ただし、いくつかのプロジェクトは早期実現のために、戦略の承認を待たずに既に開始されています。

A. 商標サービスプログラムとCoC認証を顧客志向に基づき変革する。

技術の活用 を通じて CoCの 管理要求事項 を軽減する CoC規格の管理要求事項の手間を軽減するためのツールとして OCPを使うことにより、認証取得・維持を簡素化し 管理の手間を軽減する

OCPはこれから認証を取得しようと考えている企業、すでに認証を取得している企業のどちらにとってもFSC要求事項を簡素化するためのツールとして使えます。特に情報に関するCoC要求事項に伴う手間を軽減できます。例えば法的要求事項を満たすことを支援する、数量集計を行う、供給者の認証状況の確認をすることなどが可能です。

顧客志向と結果に 焦点を当てることで CoC認証を効率化する

(A2)

より理にかなったアプローチを用いてCoC制度を再設計することで 認証取得者のコスト軽減に繋げる

多くの認証取得者から、より柔軟なCoC制度の下で新しい技術や科学の知見、また20年間に渡り我々が学んできた経験を取り入れるべきだという意見が出ています。FSCの戦略計画では、リスクによらずすべての認証取得者にすべての要求事項を適用するのではなく、リスクに基づくアプローチを採用することをFSCに求めています。

FSC認証製品の

プロモーション機会を増やすために FSC商標方針を修正し ツールを開発する (A3)

FSCラベル付きの最終製品プロモーションをより簡単にできるようにする

認証取得者および非認証FSC商標ライセンス契約者(小売店)から、FSC認証製品のプロモーションに関してより良い方法の検討が求められています。サプライチェーン統合プログラムではFSCラベル付きの最終製品の管理に関してOCPを用いた効果的な方法を試験する予定です。

B. FSC制度における不正確な取引情報に対応する。

CoC制度における 不正確な 取引情報の リスクに対応する

取引情報の照合に関する基準の導入と FSC表示の検証のためのリスクに基づくアプローチの導入

現在のCoC規格では、サプライチェーン内の取引当事者間の取引情報を認証機関が相互確認するための仕組みを持ちません。このことにより数量記録の不正確さや不正が発生し得る状況となっています。サプライチェーン統合プログラムでは、この問題への対応を予定しており、改定CoC規格の中にこの問題に対応するための基準を含めることを求めています。これにより現在のCoC制度のギャップを埋め、CoC制度における不正確な取引情報のリスクの制御が保証されます。

データ機密性とセキュリティを守りつつ データの品質と利用性を向上する

認証データ品質向上 プロジェクト



FSC認証データベースのデータの正確性はFSC制度が機能するために非常に重要です。このデータは認証取得者が取引先の認証状況を検証するためなど様々な用途で使用されています。一方、現状のデータベースのデータ品質は最適であるとは言いがたい状況です。また情報を修正するための方法も会員、認証取得者、ネットワークパートナーの要望を満たしていない状態です。認証データベースの管理方法と情報入力方法を体系的に見直す必要があります。

OCPが誰にでも使いやすく利用価値があるツールとなることを保証する

利用価値のあるツールとして OCPを完成させる



OCPの使用が任意化された中で、幅広く使用してもらうためにはきちんと機能し、直感的に理解でき、安全なツールでなければなりません。このツールが不正確な取引情報を撲滅し、制度の完全性を高め、認証取得者と非認証取得者のビジネスソリューションを提供できるように開発を続けます。

遺伝子検査の利用

品質管理手段としての遺伝子検査



遺伝子検査は不正に対して比較的迅速に回答を出すことができ、紙製品、複合製品、無垢材の品質管理のための効果的な手段となり得ます。木材のすり替えはFSC制度の有する脅威であり、遺伝子検査の助けなしには摘発や証明が難しいことが多いでしょう。

中国における誠実性プロジェクト

B5

取引情報の正確性はFSCの信頼性を作る重要な要素です。しかし不正確な取引情報が発生しているリスクが中国において高いといっことを示す根拠が見つかっており、FSCでは特に中国において積極的に問題を解決するためのプロジェクトを発足することを決めました。FSC、ASI、認証機関、その他の利害関係者が協力してプロジェクトを推進します。このプロジェクトを通じて、他のリスクが高い地域での対応方法も明らかになると考えられています。

リスクが高いと言われている地域における調査および FSC制度の誠実性を保証するためのツールと手順の決定

FSCとは...



環境的に適切な森林管理

森林の生物多様性、生産性、生態系の働きを守り、木材や木材以外の製品の生産を確保します。



社会的な便益をもたらす森林管理

地元住民や社会両方が長期に渡る便益を享受できるように支援し、また地 元住民が森林資源を維持し、長期に渡る管理計画を実施できるよう強いイ ンセンティブを提供します。



経済的に継続可能な森林管理

森林資源、生態系、コミュニティの犠牲のもとでの利益を生み出さずに、 十分に利益がでるような構造及び管理の森林施業のことを意味します。適 正な収益を出す必要性と責任ある森林施業の原則との間に生じる軋轢は、 管理する森林の最適な価値に対し、あらゆる林産物及びサービスを全面的 に売り込む努力によって削減できます。

FSC Global Development Charles de Gaulle Straße 5 53113 Bonn Germany T +49 (0) 228 367 660 F +49 (0) 228 367 66 30 Mail: fsc@fsc.org www.fsc.org

